

2025 年 9 月 30 日

報道関係各位

大成有楽不動産株式会社

**大成有楽不動産で首都圏最大規模となる、小中学校・図書館等 94 施設の包括管理
「三鷹市包括施設管理業務」の優先交渉権者に選定**

大成有楽不動産株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：植草健史）は、「三鷹市包括施設管理業務に係る公募型プロポーザル」において、優先交渉権者として選定されましたのでお知らせいたします。今回の包括施設管理業務における対象施設数は、首都圏の包括管理で当社最大規模の 94 施設となります。

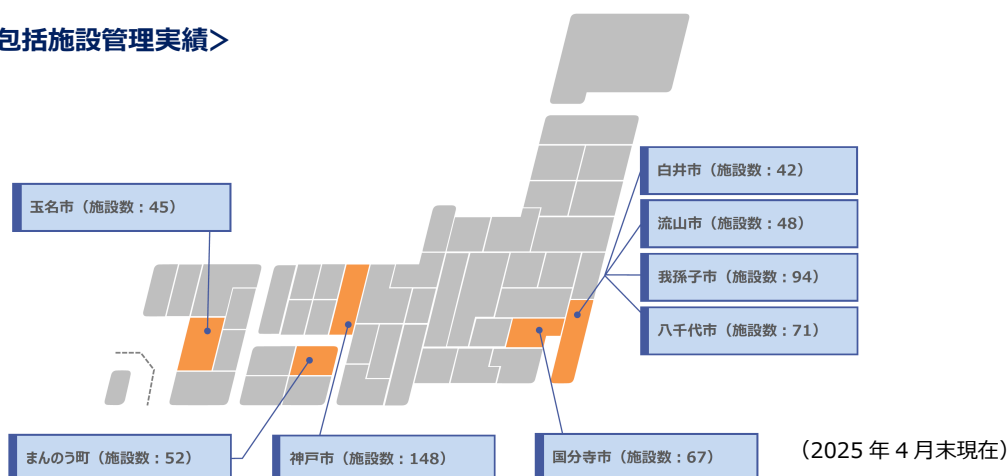
三鷹市では公共施設の約半数が建築後 40 年以上経過し、老朽化の進行に伴い設備の不具合や故障の発生リスクが一層高まる状況にありました。また、維持保全の専任職員や技術職員の配置が難しく、専門的な知見の蓄積や維持管理水準の向上が困難であるという課題がありました。そこで、各部署が個別に外部委託していた維持管理業務（保守点検・清掃・小修繕等）を集約することによる業務効率化と品質向上を図ることを目的に、日常的な維持管理業務を担う部署の集約化と合わせて、「包括施設管理委託」を導入するため公募型プロポーザルを実施しています。

＜公募の概要＞ 出典：三鷹市包括施設管理業務に係るプロポーザルの実施について（三鷹市ホームページ）

件 名	三鷹市包括施設管理業務
期 間	令和 8（2026）年 4 月 1 日から令和 13（2031）年 3 月 31 日まで（5 年間）
対象施設	庁舎・小中学校・保育園など計 94 施設 （94 施設の他に、特定建築物定期点検や施設巡回点検のみ業務に含める施設あり）
業務内容	対象施設の統括マネジメント・施設巡回・保守管理・修繕・保全支援業務

大成有楽不動産の包括施設管理事業について

大成建設グループのノウハウと技術力を礎に、当社は包括施設管理の第一人者として平成 24 年（2012 年）から実績を積み重ね、現在では 8 つの地方自治体から包括施設管理を受託しています。建物の「かかりつけ医」として不具合の予兆を見逃さない予防保全を推進し、公共施設の安全性・快適性の向上と長寿命化を実現することで、地方自治体の地域住民への安定した公共サービスの提供に貢献しています。

＜全国での包括施設管理実績＞

公共施設マネジメント（当社ホームページ）

<https://www.aisei-yuraku.co.jp/business/building/ppp.html>

＜リリースに関するお問合せ先＞

大成有楽不動産株式会社 経営管理本部 企画総務部 広報・サステナビリティ推進室
TEL 03-3567-9411 / E-mail : press-cc@aisei-yuraku.co.jp